

三菱薄形電気温水器

ダイヤホット 40

取扱説明書 深夜電力(8時間)用 通電制御型

このたびは、三菱電気温水器(ダイヤホット)をお買
上げいただきまして誠にありがとうございました。

マイコン
ダイヤホット

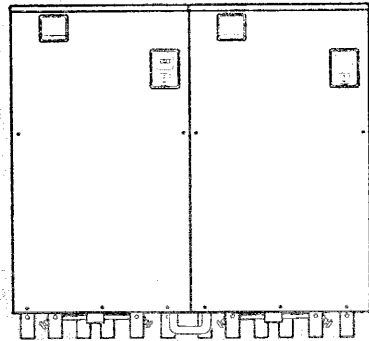


認定品

配管内蔵防雨タイプ

形名

SRG-R3764-BL



この電気温水器は、申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
ご不明の場合は、必ず据付け工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名(販売店名)」などの記入を確かめて、据付け工事店(販売店)からお受け取りください。
- 添付別紙の「三菱電機お客様相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

もくじ

安全のために	ページ
必ずお守りください	1~2
各部のなまえとはたらき	3~4
・本体	
・本体周辺部	
ご使用方法	5~8
・使用前の準備と給湯	
・お湯の上手な使い方	
・操作部のなまえ	
・湯温設定	
凍結防止について	9~10
・暖かい地域でご使用の お客さまも必ずお読みください	
・凍結防止ヒーターによる方法	
・少量の水を流し続ける方法	
お手入れと定期点検のお願い	11~12
・配管の点検	
・タンクのお手入れ	
・逃し弁の点検	
・漏電遮断器の点検	
・水漏れの点検	
・定期点検のお願い(有料)	
修理を依頼する前に	13~14
・こんなときは故障ではありません	
・故障かな?と思ったら	
長期間使用しないときは	15
・1ヵ月以上するとき	
・1ヵ月以内のとき	
仕様	16
別売りモコンについて	17
保証とアフターサービス	18

試運転は、据付け工事店立会いのもとで行なってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●本文中や、本体の表示に使われる表示の意味は次の通りです。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●本文中や、本体の表示に使われる図記号の意味は次の通りです。

			絶対に行わないでください。
			必ず指示に従い、行なってください。
			必ずアース工事を行なってください。

	感電の恐れあり
	やけどの恐れあり
	発火の恐れあり

警告

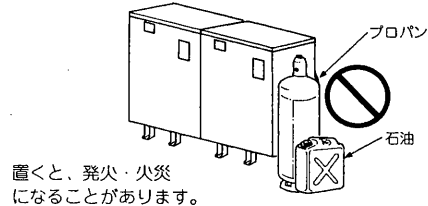
やけどに注意

- ・給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
- ・排水時はお湯に手を触れないでください。
- ・逃し弁点検時は内部の配管に手を触れないでください。



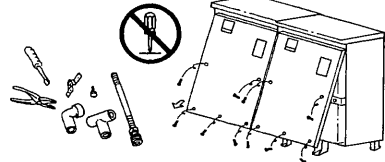
給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯がでます。特に朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出る場合があります。

近くにガス類や引火物を置かない



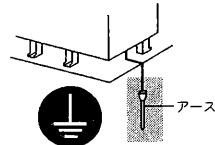
置くと、発火・火災になることがあります。

修理技術者以外の方は、分解・改造・修理をしない



不備があると、発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

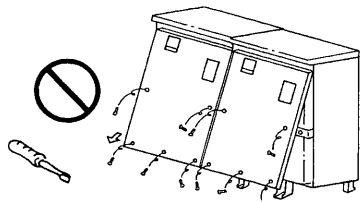
アース工事を確認する



工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

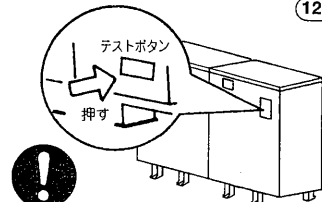
アースの取付けは、据付け工事店が三菱電機サービスセンターまたは三菱電機お客さま相談窓口へお問合せください。

前面カバーを開けない (3ページ)



開けると、感電することがあります。

漏電遮断器の動作を確認する (12ページ)



故障のまま使用すると、感電することがあります。

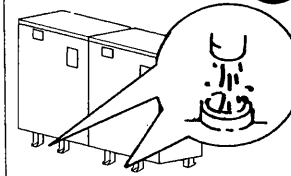
注意

飲用はしない



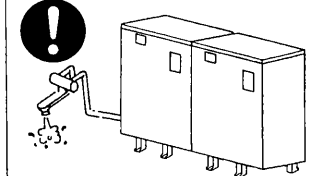
長期間の使用により水質が変化した場合、下痢・腹痛など、体をこわすことがあります。

タンクの熱湯を直接排水しない



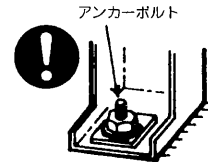
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがあります。

通電はタンクを満水にしてから行う



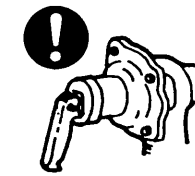
「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

脚がアンカーボルトで固定されているか確認する



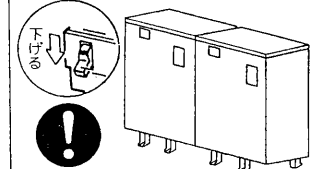
固定されていないと地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

逃し弁の点検をする (11ページ)



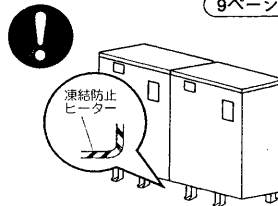
点検しないとタンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

1か月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする (15ページ)



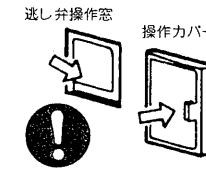
排水しないと水質が変化することがあります。

凍結防止対策の確認をする (9ページ)



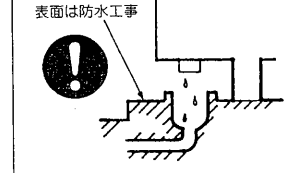
凍結すると配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

操作カバー・逃し弁操作窓は閉じる (3ページ)



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

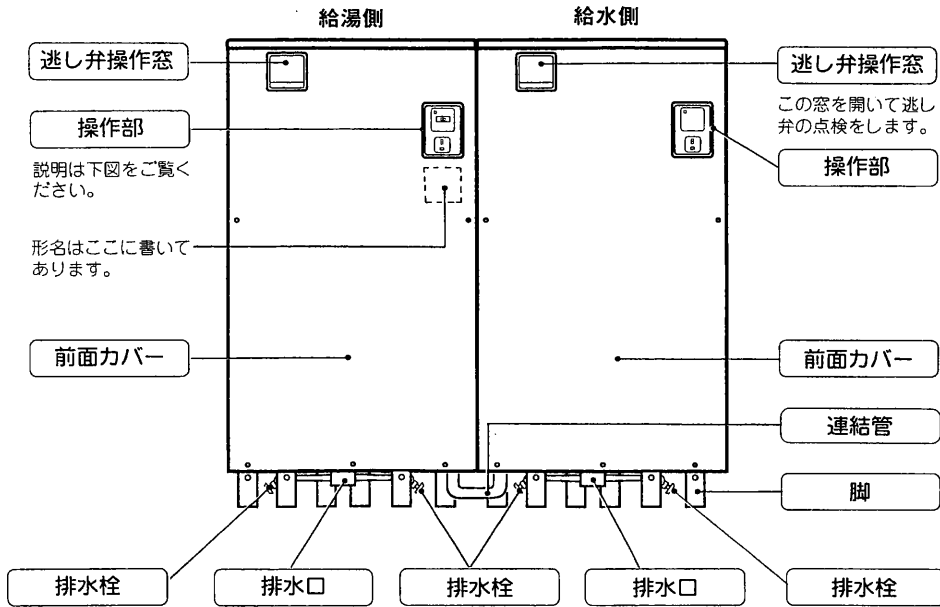


処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる場合があります。

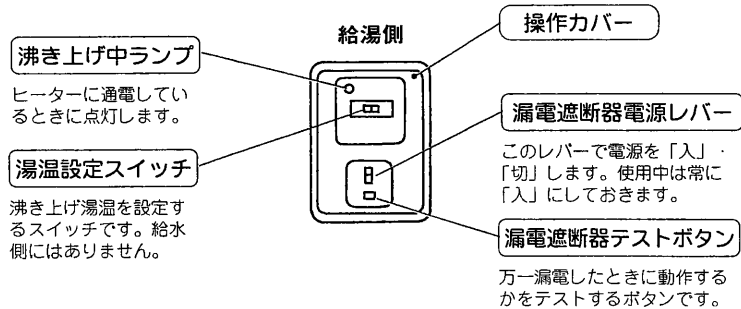
各部のなまえとはたらき

本体

BL設定の範囲は本体、逃し弁です。
配管、部材は含まれていません。

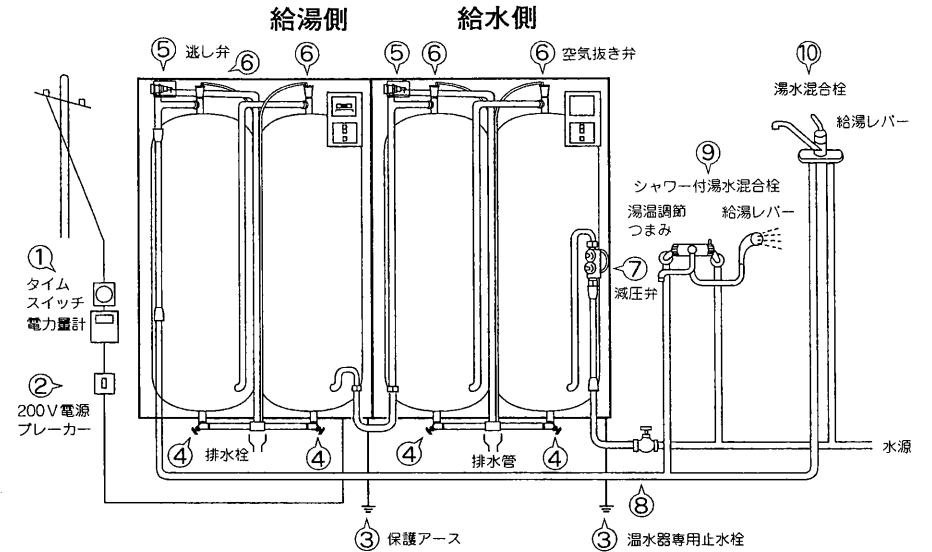


操作部



本体周辺部

使用する水栓は、湯水混合栓をお勧めします。
また浴室ではサーモスタット付混合栓などをお勧めします。



① タイムスイッチ

深夜電力電源(200V)の供給を自動的に「入」、「切」する。

② 200V電源ブレーカー

200V電源の「入」、「切」をする。

③ 保護アース

万一の感電を防ぐ。

④ 排水栓

タンク内の水を排水するときに操作する。

⑤ 逃し弁

沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にする。

⑥ 空気抜き弁

タンク内にたまった空気を排出します。

⑦ 減圧弁

タンク内の給水圧力を一定にする。

⑧ 温水器専用止水栓

タンク内への「給水」、「止水」に使う。

⑨ シャワー付湯水混合栓

お湯を取り出す。

⑩ 湯水混合栓

お湯を取り出す。

ご使用方法

使用前の準備と給湯

使いはじめや水を抜いたときは次の手順で操作してください。(①～⑦は右図と対応しています。)

給水

- ①湯水混合栓やシャワー付湯水混合栓の湯温調節を「高」側にして給湯レバーを開く。
- ②温水器専用止水栓を開く。
- ③湯水混合栓やシャワー付湯水混合栓から水が出てきたら給湯レバーを閉じる。空の状態から満水までは約30分かかりますが、水圧や配管によって多少変わります。

△注意

通電はタンクを満水にしてから行なってください。「空焼き」の場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。

運転

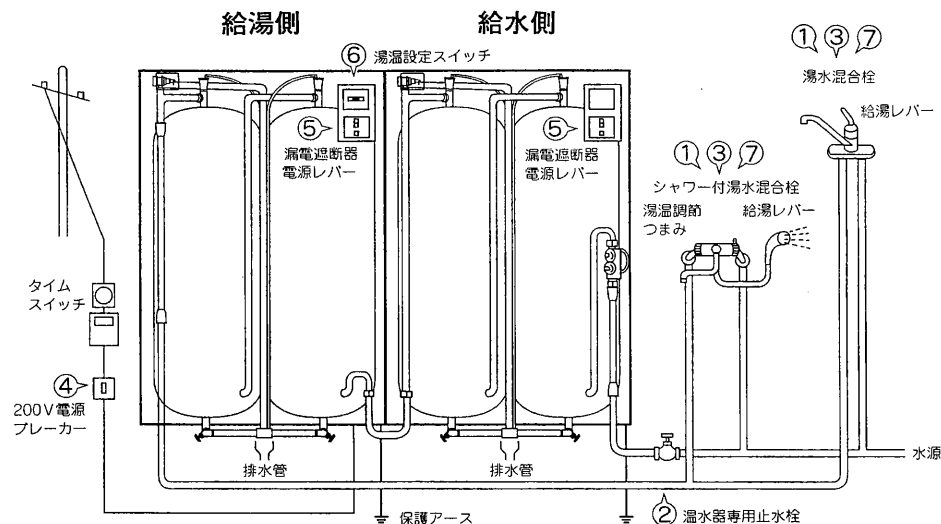
- ④深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
- ⑤漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。(給湯側、給水側)
- ⑥湯温設定をする。(8ページ)

- お知らせ ●深夜電力はタイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます
●給湯は翌朝から使用できます。

給湯

- ⑦湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。

- お知らせ 給湯すると温水器に自動的に給水されます。



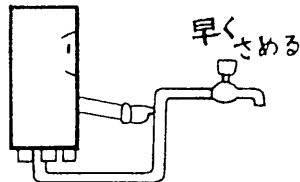
お湯の上手な使い方

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使ってください。

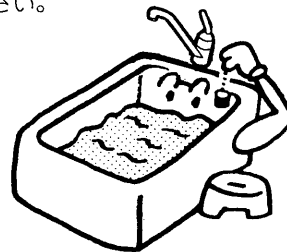
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使ってください。



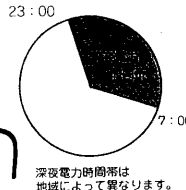
- 配管内のお湯は早くさめます。シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行なってください。

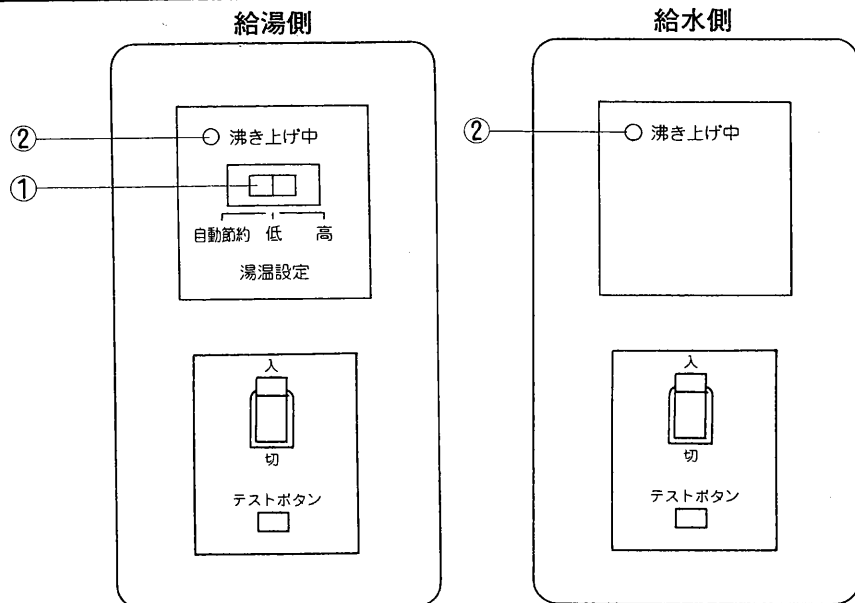


- 入浴は、できるだけ深夜電力時間帯（沸き上げ中ランプの点灯中）を避けて連続して行うようにしてください。点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなる場合があります。



ご使用方法

操作部のなまえ



①湯温設定スイッチ(スライド式)

沸き上げ湯温の設定に使用

自動節約 約60℃～約90℃
 低 約55℃
 高 約90℃

②沸き上げ中ランプ

点灯 沸き上げ中を示す。

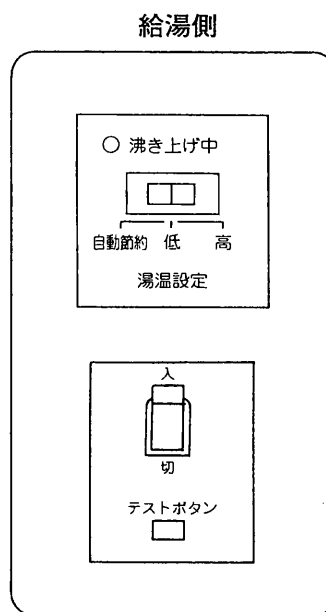
※点滅しているときは、
 据付け工事店にご連絡
 ください。

自動節約運転……この設定は手間がかからず便利です。

マニュアル運転……ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせてご使用ください。

●沸き上げ中に停電が発生し、復帰した場合はただちにヒーターに通電します。

湯温設定



お知らせ

スイッチは左右に軽くスライドさせてください。

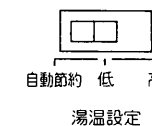
上手な使い方

- 自動節約運転の場合、毎日の使用湯量がほぼ一定しているときにご使用ください。維持費の節約ができます。
- 来客などで使用湯量が急増するときや熱いお湯が必要なときはまえてマニュアル運転で湯温設定を「高」に切換えてください。

自動節約運転

- 過去の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測し、約60℃～約90℃の範囲で沸き上げます。

「自動節約」側にする



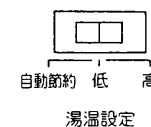
自動節約運転を解除するときは「低」、「高」のいずれかの位置にします。(マニュアル運転になります。)

マニュアル運転

- 湯温設定スイッチにより約55℃と約90℃の沸き上げができます。

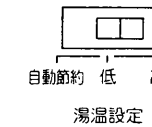
約55℃にするとき

「低」の位置にする



約90℃にするとき

「高」側にする



- 給水水温10℃以下残湯量20L未満の場合は90℃まで沸き上がりません。沸き上げ湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。また、湯温は2～3℃ばらつくことがあります。

凍結防止について

暖かい地域でご利用のお客様も必ずお読みください

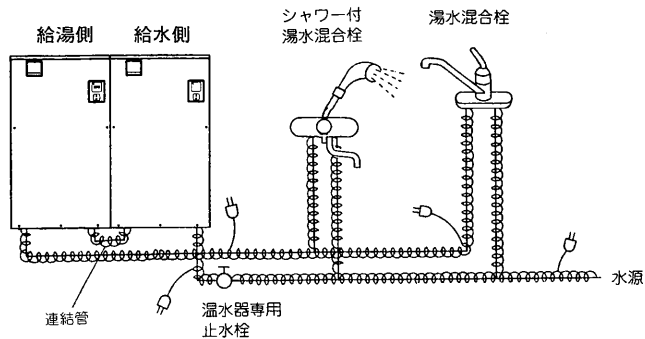
冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には配管が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。

どの方法が施工されたのか取付け工事店に確認し、その方法によって実施してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。
- 給湯側と給水側を連結する連結管に工事が施工されていることをご確認ください。



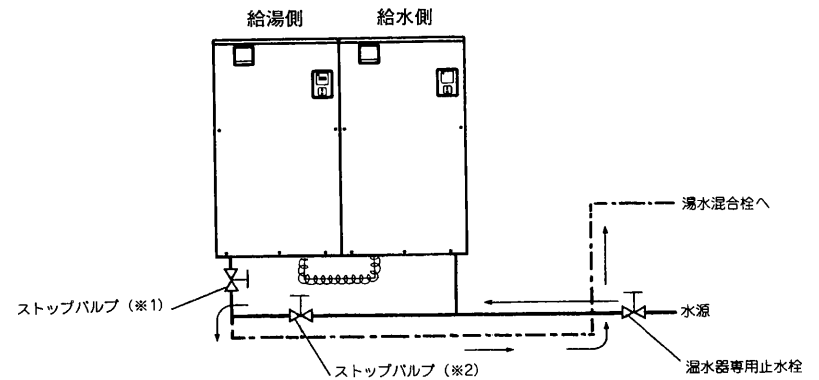
少量の水を流し続ける方法

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。

- ① ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開きます。
- ② 湯水混合栓の湯温調節を「高」側にして給湯レバーを少し開けて糸ひき状態に水を流します。

〈翌朝使用するとき〉

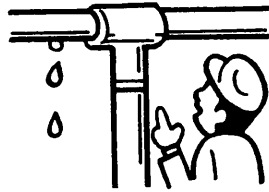
- ① 湯水混合栓を閉じます。
- ② ストップバルブ(※2)を閉じ、ストップバルブ(※1)を開きます。



お手入れと定期点検のお願い

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬季に入る前にチェックし、異常のある場合は据付け工事店に修理依頼してください。



タンクのお手入れ(1~2カ月に1度)

- ① 排水栓(4カ所)を1カ所ずつ1~2分間開き排水します。
- ② 排水がきれいになったら排水栓を確実に閉めます。(排水がきれいにならなかつたら数回繰り返してください。)

△警告

排水時は、熱湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

逃し弁の点検(1カ月に1度)

1. 逃し弁の動作点検

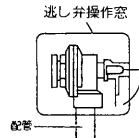
- ① 逃し弁のレバーを上げ、水(お湯)が排水口から出ることを確認します。
- ② お湯が出れば正常です。
お湯が出ないときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器(給湯側、給水側)の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

2. 逃し弁の水漏れ点検

- ① 「沸き上げ中ランプ」が消灯中に排水口からお湯がでていないかを確認します。
- ② お湯が出ているときは、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器(給湯側、給水側)の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

△警告

内部の配管に手を触れないでください。やけどをすることがあります。

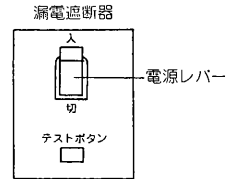


漏電遮断器の点検(1カ月に1度)

漏電遮断器の点検は給湯側、給水側2台とも深夜電力時間帯に行なってください。

- ① テストボタンを押します。
- ② 「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。電源レバーを「入」にもどします。

テストボタンを押しても電源レバーが「切」にならないときは、200V電源ブレーカーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。



△警告

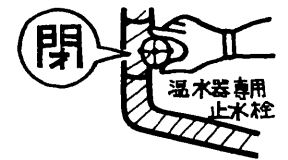
漏電遮断器の動作を確認してください。故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器(給湯側、給水側)の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

△注意

マンションなど、中・高層住宅では、水漏れが起きた場合、下層階へ被害を及ぼす恐れがあります。



定期点検のお願い(有料)



- ・電気温水器を少しでも長くご満足して使用していただくために、3~4年ごとに定期点検(有料)を行なってください。
- ・減圧弁、逃し弁、空気抜き弁などは消耗部品(目安として3~4年)です。劣化している場合は早めに交換してください。
- ・定期点検については、据付け工事店または三菱電機サービスセンターへご相談ください。

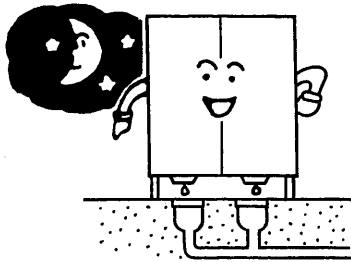
こんなときは故障ではありません。

お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、沸き上げ中（沸き上げ中ランプが点灯中）に水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から排水口へ出ます。



ヒーターにすぐ通電されない

給水水温が高い場合や、湯温設定が低い場合は、マイコンの働きにより、深夜電力が供給されてもヒーターにすぐ通電されないことがあります。



設定湯温まで沸き上がらない

深夜電力供給中に湯温設定を「高」にしたり、沸き上げ中ランプが点灯中にお湯を使用すると設定湯温まで沸き上がらないことがあります。

〔給水水温10℃以下、残湯量20L未満の場合は90℃まで沸き上がりません。〕

故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思ったときは、まず次の点を調べてください。

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	・断水していませんか	断水が終わるまで待ってください。
	・温水器専用止水栓は開いていますか。	閉じていれば開いてください。
	・配管部分が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。
お湯が沸かない 足りない	・200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。 ・漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。	「入」にしてください。
	・湯温設定は適切ですか。	「高」に切換えてください。（8ページ）
	・排水口から昼間、お湯が水が出ていませんか。	逃し弁を点検してください。（11ページ） 逃し弁を点検してもなおらない場合は据付け工事店にご連絡ください。
	・沸き上げ中ランプが点灯中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。	翌日までお待ちください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

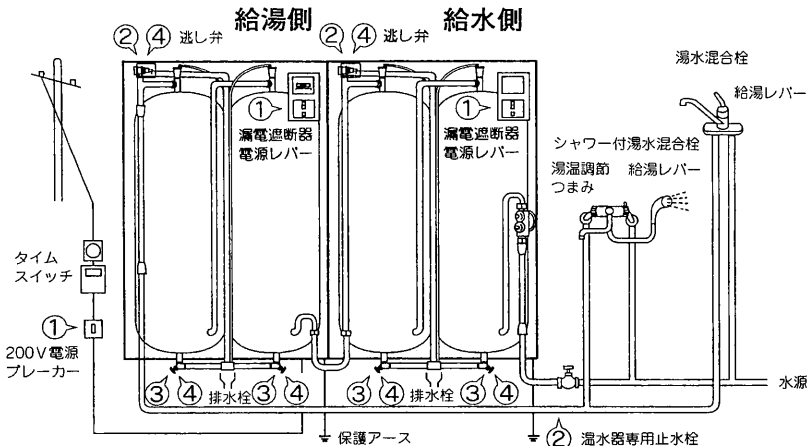
長期間使用しないときは

仕様

1ヵ月以上のとき (タンク内の水抜きをします。)

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂に給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。



- ①深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器 (給湯側、給水側) の電源レバーを「切」にします。
 - ②温水器専用止水栓を閉じ、逃し弁 (給湯側、給水側) のレバーを上げます。
 - ③排水栓 (4カ所) を開きます。排水時間の目安は30分です。熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。
 - ④排水が終わったら逃し弁 (給湯側、給水側) のレバーを下げ、排水栓 (4カ所) を閉じます。
- ★再びご使用になるときは使用前の準備と給湯 (5ページ) に従ってください。

1ヵ月以内のとき (電源を切ります。)

1ヵ月以内でも冬季凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますので1ヵ月以上のときと同じようにタンク内の水抜きをしてください。

- ① 漏電遮断器 (給湯側、給水側) の電源レバーを「切」にします。
- ② 温水器専用止水栓を閉じます。

★再びご使用になるときは逆の順序 (②、①) で行ってください。

形名	SRG-R3764-BL	
設置場所	配管内蔵防雨タイプ (屋内外兼用)	
タンク容量	0.37m ³ (370L)	
定格	発熱体	単相200V 4.4kW
格	制御用	単相200V 約8W
沸き上げ湯温	約55℃～約90℃	
本体寸法	高さ1500mm 幅1600mm 奥行400mm	
質量	本体	116kg
	満水時	486kg
安全装置	漏電遮断器・温度過昇防止器・保護アース	
温度検知	サーミスター	
発熱体	シーズヒーター	
操作部	操作	湯温設定スイッチ (自動節約・低・高) 漏電遮断器 (電源レバー・テストボタン)
	表示	沸き上げ中

別売リモコン(RMC-4)について

この製品はリモコン(RMC-4)を接続すると次の操作ができます。

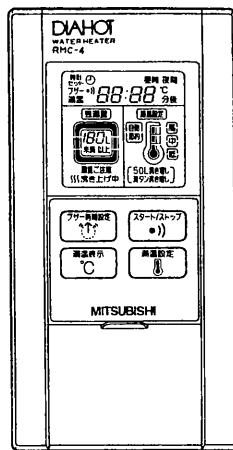
- 湯温設定を「高」(約90℃)、「中」(約75℃)、「低」(約55℃)の3段階と「自動節約」(約60℃～約90℃)に切換えられます。
- タンク内の湯温や残湯量を確認できます。
- 設定時間の経過をブザーで知らせることができますのでお湯張り時に便利です。

さらに電力契約を「時間帯別電灯」にすれば昼間の沸き増しができます。

- お湯がたくさん必要なときは「満タン沸き増し」を設定すると、その日は昼間に連続して沸き増しを行います。

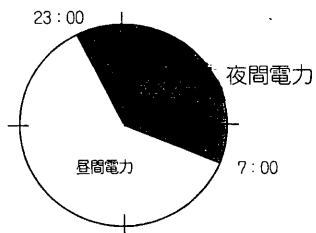
お知らせ ○「満タン沸き増し」を設定すると昼間時間帯に通電され料金が割高になりますので必要に応じて使用してください。
○リモコンを取付けるときは別売のリモコンケーブルと取付け工事費が必要です。

※「時間帯別電灯」料金制度の詳細については、お近くの電力会社にお問い合わせください。



大きさ 幅96×奥行23×高さ198(mm)
標準価格 20,000円(税別)

「時間帯別電灯」料金制度



1日中、200V電源が供給されます。家庭で使用するすべての電力を、昼間電力(7:00～23:00)と夜間電力(23:00～7:00)に分けて計算します。一般の電灯料金に比べ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力が大幅に割引されます。

※時間帯別電灯料金制度の詳細については、お近くの電力会社にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店(販売店)名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

保証期間

- お買上げの日から2年間で。(ただし、タンクは5年です。)

	お買上げ日	2年	5年
本体	無料	→	有料
タンク	無料	→	有料

補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。この期間は(財)ベターリビングの指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店がお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

愛情点検

★長年ご使用の電気温水器の点検を

●この電気温水器(BL認定品)の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか

- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯の出が悪い。
- ・お湯が早くなる。
- ・時々漏電遮断器がはたらく。
- ・その他の異常、故障がある。

▶

ご使用中止

故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

修理サービス

- 製品の具合が悪いときは16ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。それでも具合の悪いときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品名	電気温水器
形名	SRG-R3764-BL
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

形名	
ご購入(据付け)年月日	年 月 日
据付け工事店(販売店)名	TEL

お客さまへ……おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名(販売店)を記入されると便利です。